

平成 29 年度 家族レクリエーション

支 部	札幌支部
事 業 名	平成 29 年度 家族レクリエーション
報 告 書	徳安 英治
日 時	平成 2 9 年 9 月 1 0 日（日）
開 催 場 所	さくらんぼ山観光農園
参 加 人 数	青年部 1 7 名 奥様 1 2 名 小学生・未就学児 2 7 名 計 5 6 名

事 業 目 的	日頃、仕事や青年部活動を影ながら応援してくれている家族へ感謝の気持ちを込めての企画でももちろん独身者も参加していただきたい。 例年は事業委員会が主導して運営していたが、事業委員会に配属された家族の父親がその役割に追われてしまい楽しめていない様子が伺えました。その為、今年は家族単位で楽しめる企画を立案し、当日は事業委員会メンバーもなるべく運営に回らない形で家族との時間を大切にもらえるような家族レク、そして独身者も来て楽しめる物にしたいと考えました。 そこで今回は家族間の交流を含め、部員全員で移動が可能な貸し切りバスをチャーターしバスツアーと称し、観光農園にて旬のブドウやブルーベリーなどの果物狩りや朝の連続ドラマ『マッサン』の舞台として有名になった余市町の観光を行います。今までと違う自然の中で行うレクは家族、部員の関係をさらに良くなると考え立案致しました。
事 業 報 告	今年度の家族レクは、新体制初年度の家族レクという事で時間があまり無い中でしたが、過去の家族レクとは違った形での企画を立案したいと考えました。そこで部員が全員で移動する事が出来る観光バスでのバスツアーから開催が秋口だった為、旬の味覚を味わう果物狩りを行う事となりました。 野外でのレクはやはり天候次第で雰囲気も変わる為、一抹の不安はありましたが、当日は初秋の晴天に恵まれ、旬のぶどうやブルーベリーを味わう事が出来ました。また会場となった観光農園での懇親会では名物のさくらんぼジンギスカンやさくらんぼカレーに舌鼓し、参加頂いた奥様や子供たちが楽しめるアトラクションを用意し、楽しんで頂けたと思います。 例年とは違う形での進行となり様々な苦労や不安、段取りの手違いなど反省材料も多かったと思いますが、様々な経験をしている部員全員が協力して一つの新しい形が出来た事が最大の成果だと思いました。また家族の皆さんの溢れる笑顔終了後の良い評価が聞こえた事そして怪我無く終えた事は大変良かったと思います。 次年度以降も色々なことにチャレンジし色々な変化を楽しみながら、参加頂く家族や子供たちの笑顔を思い浮かべてさらに良い企画を立案・実施していきたいと思っています。
添 付 資 料	写真 4 枚

① 全体写真



② バス内風景



③ ぶどう狩り風景



④ 懇親会風景

